

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公開番号】特開 2020-58429 (P2020-58429A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2018-189889 (P2018-189889)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 3 日 (2021.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
 前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
 制御手段と、
 遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
 所定領域を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結
 果を導出表示する普通可変表示手段と、
 前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、遊技媒体が特定領域
 を通過可能な状態となる普通可変手段と、
 前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段と
 と、
 前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知
 演出実行手段と、
 前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段
 と、
 特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、を備え、
 前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が
 実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
 前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後
 、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
 前記通過可能期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後遊
 技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終
 了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記通
 過可能期間の計時が再開され、
 前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
 に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
 が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき

に前記有利状態報知期間の計時が再開され、

前記外部出力手段は、前記設定確認状態に制御されたときに前記特定信号を出力可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、設定変更操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、主基板側から設定変更状態中や設定確認状態中であることを示すコマンドが演出制御基板側に送信されることに基づいて、設定変更状態中や設定確認状態中であることが報知されていた（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2010 - 200902 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献 1 にあっては、遊技の進行中に設定確認作業を行う際のこと十分に考慮されておらず、改善の余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、設定確認状態中においてイレギュラーなコマンドの受信があった場合の制御が適切に実行される遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
 所定領域を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する普通可変表示手段と、
 前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、遊技媒体が特定領域を通過可能な状態となる普通可変手段と、
 前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段と、
 、
 前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知演出実行手段と、
 前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段と、
 、
 特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、を備え、
 前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
 前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
 前記通過可能期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記通過可能期間の計時が再開され、
 前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記有利状態報知期間の計時が再開され、
 前記外部出力手段は、前記設定確認状態に制御されたときに前記特定信号を出力可能である、
 ことを特徴とする。この特徴によれば好適に設定確認作業を進めることが出来る。

手段１の遊技機は、
 複数の設定値（例えば設定値１～３あるいは設定値１～６等）のうちいずれかに設定可能であり、設定された設定値に応じて異なる割合で遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、
 前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出（例えば予告Ｘ、予告Ｙ、予告Ｚ等）を実行可能な特定演出実行手段と、
 タイマ値に応じて第１処理（例えば、図５６の特別図柄変動処理）を実行する第１処理実行手段（例えば、ＣＰＵ１０３）と、
 タイマ値に応じて第２処理（例えば、図５７の特別図柄停止処理）を実行する第２処理実行手段（例えば、ＣＰＵ１０３）と、
 前記第１処理及び前記第２処理よりも先に実行され、前記第１処理で用いられるタイマ値と前記第２処理で用いられるタイマ値とを更新する第３処理（例えば、図５３のタイマ更新処理）を実行する第３処理実行手段（例えば、ＣＰＵ１０３）と、を備え、
 前記特定演出実行手段は、設定値が第１設定値であるときの前記特定演出の出現率と、設定値が前記第１設定値とは異なる第２設定値であるときの前記特定演出の出現率と、が同一または略同一の範囲内となるように前記特定演出を実行し（例えば図６０－１（Ｂ）、（Ｃ）、図６０－２～図６０－３）、
 前記第１処理実行手段は、前記第３処理において更新されたタイマ値に基づいて前記第１処理を実行し、
 前記第２処理実行手段は、前記第３処理において更新されたタイマ値に基づいて前記第２処理を実行する、ことを特徴としている。

この特徴によれば、設定値によらず共通の出現率で特定演出を実行できるので、遊技の興趣を向上させることができる。